

# 尾畑酒造を環境省表彰

持続可能な社会へ  
継続的な活動評価

学校蔵で仕込んだ酒と  
賞状を持ち、喜びを語  
る尾畑留美子専務（左）  
渡市西三川

廃校を利用した「学校蔵」で酒を造る尾畑酒造（真野新町）の取り組みが、環境省主催の「グッドライフアワード」で実行委員会特別賞を受賞した。持続可能な社会の実現に向けた継続的な活動が評価された。

## 醸造に廃校を活用

環境と社会に貢献する活動を表彰しており、10回目。今年は全国から229件の応募があり、計47件が選ばれた。尾畑酒造が受賞するのは2回目で、今回は地域の知恵や考え方を大切にしている企業、団体に贈られる「環境地域ブランディング賞」に選ばれた。

尾畑酒造では2014年から、旧西三川小学校の校舎を活用して酒を造っている。「資源、エネルギー、人の循環」を目指し、太陽光パネルで自家発電しながら酒を製造、販売しているほか、酒造り体験やワークショップを開いている。観光客と地元住民が交流する場をつくろうと、今年7月には施設内にカフェを開設。酒かすを使ったメニューを提供するなどしている。

尾畑留美子専務は「カフェが循環の輪をつなぐ場所になっていると思う。酒造りを中心とした輪を成長させていきたい」と話した。

